

お待ちどうさま！フィラデルフィアから現地速報です。

先ほど

ドレクセル大学の自然史博物館

**THE ACADEMY OF NATUNAL SCIENCES
OF DREXEL UNIVERSITY**

の音楽ホールの壇上からチェアマンの
ポール・カロモン氏によって

「2013 ‘フィラデルフィア・シェルショー」

の受賞者の発表が行われました。

貝類学に関する発表者や貝のコレクターからの発表者と
アマチュア部門の受賞者の発表の後
いよいよアーティスト部門の受賞者の発表者が壇上に招かれる時
がやってきました。

この日の朝会場に並ぶはつえ先生の半年間の4点の力作には
その4点全てに受賞作品のリボンが付けられていました。
勿論日本人の全作受賞は初めての快挙です。

春のフロリダの大会では悔しい思いをし、改良を重ねてきた、最近では現地でも話題の
「MIRAGE」のその鏡とLEDの輝きの前にオブジェ部門の**レッドリボン**（第二位）が、

今までのアメリカのバレンタインには無い曼荼羅を基本構成にデザインされる先生の新境
地「MANDARA（まんだら）」にも同じく巨匠ひしめくコンテンポラリー部門の**レッド
リボン**が、

そしてこれもまたお馴染みのKAIWASE（貝合わせ）シリーズの

「I LOVE YOU / きみこいし」がダブルセーラーズバレンタイン部門で、
更に、先生がサニベル島の師と仰ぐビル・ジョーダン氏直伝のトラディショナルスタイル
の部門で、「WITH ALL MY LOVE」が、どちらにも**ブルーリボン**（第一位）が付けら
れて誇らしげに展示して有りました。

そしてその夜の受賞式の壇上のカロモン氏から授与されるのが今年の大会で各ジャンルの
全ての作品から特に優れた作品に与えられる、今年の世界一を意味する「**BEST OF
SHOW（大会最優秀賞）**」の輝く楯です。

会場に広がる静寂の中から

「ハアトゥ〜エェ〜」の音が、

そして壇上に迎えられフラッシュを浴びるはつえ先生に盛大な拍手が

チェアマンとジャッジマンから受け取った賞賛と楯を胸に、座席に戻り着席するや否や、再度リプレイのように

「ハアトゥ〜エェ〜」の音が、

なんと大会最優秀賞は2つのブルーリボン賞作品の両方に与えられたのです。

日本人でありながらアメリカ伝統のその様式に敬意を表し、完璧なまでにセーラーズバレンタインの歴史的表現の再現を試みたトラディショナルスタイルの作品と、

はつえ先生のライフワークとしてアメリカの伝統アートの中に新たに日本文化を融合させ

「ジャパニーズスタイルセーラーズバレンタイン」を確立しようと挑み続けている中で生まれた「**KAIAWASE**」がダブル受賞だったのです。

個々の作品と言うよりは、先生の異国人の立場で、よりアメリカの伝統と基本を最も重んじた上で、日本人ならではのスタイルを追求しようとする制作姿勢こそがアメリカ人から賞賛されたのであり、大変意味のあることです。今回の受賞により更なる追求と精進を求められ励まされているかの様に鈴木には、思えてなりませんでした。

大喜びではしゃぐ鈴木の横で、はつえ先生は喜びの笑顔の中に旅の疲れが少々と、それでも今回の挑戦的作品の2作品がブルーリボンでなかったことに対する悔しさを隠しきれない様子でした。

気持ちは既に次回作に向けたその顔には2年前に1つのブルーリボンに感激して泣いていたはつえ先生の面影はなく、たくましさでチョッピリ威厳すら感じられました。

チャイニーズレストランでのパーティーも終わり、大会も明日まで、私たちは夜から車でニュージャージーへ移動、ケープメイでは2日間の「**MIRAGE**」のワークショップを楽しみにしているアメリカ人の生徒さん達が待っています。これまたハードスケジュール！

今夜だけはユックリお休みください。

私は少々もの足りないので、ホテルの部屋で一人バーボンで呑み直しです。

本当におめでとうございます。コングラッチュレーション！チアーズ！

鈴木の現地レポートでした。